三遠南信 祭り街道 いざないマップ

【遠州・奥三河編】

三遠南信へようこそ!

三遠南信(愛知県東三河、静岡県遠州、長野県南信州)エリアが、歴史深い民俗芸能が特に密集した地域だということをご存知ですか?

三遠南信自動車道と接続する国道151号が、別名”祭り街道”と呼ばれ、「民俗芸能の宝庫」と注目される一帯の象徴となっているように、人々は新年の豊作を願ったり、盆や念仏行事で先祖を敬い、霜月祭りで自らを生まれ清めたり、常に地域の自然神と一体となって、独自の文化を築き上げてきました。そのような地域の自然・歴史文化資源を道でつないだ三遠南信地域全体を紹介しています。三遠南信自動車道などを活かして地域を巡れば、きっと風や光や人々の温もりなど、目に見えない魅力をいっぱい感じられることと思います。

今回は三遠南信の中でも、遠州エリアを中心にご紹介します。伝統行事の行われる時期も、そうでない時期も、どうぞゆっくりお楽しみください。

問い合わせ　国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所(計画課)
電話　053-466-0117
三遠南信住民ネットワーク協議会(遠州世話人 NPO法人地域づくりサポートネット)
電話 053-458-3480　E-mail　info@shizuoka-t.net

1 井伊直虎の里・奥浜名湖

NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」で一躍注目を浴びた井伊谷を中心とした奥浜名湖。直虎ゆかりの地では、古代祭祀の場であった天白磐座遺跡をはじめ、直虎の許嫁であった亀之丞の笛が保管されている寺野六所神社、井伊共保公や井伊家八柱のお墓などを見て回ることができます。このほか、高台に上って奥浜名湖の輝きを堪能したり、湖北五山(大福寺・摩訶耶寺・方広寺・龍潭寺・宝林寺)の寺巡りで庭園堪能もオススメ。

井伊氏発祥の井戸

湖北五山 摩訶耶寺

▶伝統芸能

1月／寺野のひよんどり　川名のひよんどり　神沢のおくない　滝沢のおくない　8月／滝沢の放歌踊り　10月／横尾歌舞伎など

寺野のひよんどり

▶眺め・みどころ

国民宿舎奥浜名湖　奥浜名湖展望公園　細江公園　大草山　浜名湖サービスエリア　久留女木の棚田　渋川つつじ公園など

細江公園展望台からの浜名湖

▶食べたい逸品

奥浜名湖エリアには、黒糖をベースにした皮の饅頭「みそまん」が各和菓子店で販売中。各店のみそまんがセットになった「奥浜名湖みそまん物語」が不定期に数量限定で販売されています。これをゲットできたあなたはラッキー!

セットになった「みそまん」

▶よもやま話

直虎の許嫁である亀之丞が追っ手から逃れて青年になるまで過ごしたのは南信州・高森町の松源寺。また直虎が養育した直政が幼い頃、追手から身を隠すために逃れたのが東三河・新城市の鳳来寺。さらに今川氏に掛け合い、直政を助命した新野左馬之助(直虎の伯父)は、遠州・御前崎市の左馬武神社に祀られています。まさに直虎の舞台は三遠南信の歴史と言えそうです。

◉近隣道の駅

鳳来三河三石(国道257号)　くんま水車の里(静岡県道9号)

2 秋葉街道北遠エリア

国道152号沿い(秋葉街道)は、秋葉詣やさらに北上して諏訪大社を目指す人たちで賑わっていたことから秋葉と諏訪を結ぶ「信仰の道」でもありました。南北朝から戦国時代の中世にかけた山城が築かれ、多くの城跡の遺構も確認されています。また、天竜川流域である北遠エリアには、地域資源の1つである「天竜美林」が広がり、美しい森林景観を楽しむことができます。森林浴やトレッキング、キャンプにも最適なエリアです。

北条峠・中央構造線

秋葉ダムの千本桜

▶伝統芸能

1月／懐山のおくない　旧暦1月18日／西浦田楽　8月／水窪の念仏踊り　9月／浦川歌舞伎　10月／川合花の舞　11月／今田花の舞など

懐山のおくない

▶眺め・みどころ

高根城(大河ドラマロケ地にもなったここからは水窪の町並みを一望)　北条峠　青崩峠秋葉ダムの千本桜　大野の一本桜　秋葉山・秋葉神社　白倉峡や明神峡の紅葉　二俣城址　花桃の里・天竜川夢のかけ橋など

高根城跡からの水窪の町並み

▶食べたい逸品

栃の木の実は、縄文時代から冬の貴重な保存食として食べられていたそうです。とはいえ非常に苦みが強いので、皮むきしたあと水にさらし、アク抜きする手間は大変時間がかかり、こればかりは現在も人の手で行われています。お菓子を一口でたいらげてしまう前に、感謝の心でじっくり味わって!

生栃餅

▶よもやま話

長年世襲制でまつりの役割が受け継がれている西浦田楽は月の出から翌日月の入りまで行われる豊穣願いの神事です。観音堂の燈明の火を乗せた船が松明まで渡る「船渡り」は、南信州阿南町新野で行われる「雪まつり」の中で、大変似た演目があり、昔から峠を越えて、人々が行き来していたことが伺えます。

◉近隣道の駅

天竜相津・花桃の里(国道152号)　いっぷく処横川(国道362号)

3 塩の道ライン・御前崎～中遠

秋葉信仰が広がるもっと前から、遠州の塩と南信州の黒曜石(矢じりなどに使用)をやりとりするため、人々は行き来していたようです。そのため秋葉街道は別名「塩の道」ともいわれていました。遠州灘・駿河湾の眺めや、茶畑越しに見る富士山、遠州の小京都と呼ばれる遠州森町の町並みなど、移り変わるさまざまな地域の風情を堪能してください。御前崎市、菊川市、掛川市、森町など町めぐりで出会う地元の人たちとの会話も思い出になることでしょう。

森町・小國神社十二段舞楽

茶草場茶園(東山)

▶伝統芸能

1月／小國神社田遊祭　2月／蛭ヶ谷の田遊び　4月／天宮神社十二段舞楽　小國神社十二段舞楽　7月／山名神社天皇祭舞楽　9月／大江八幡神社の御船行事　桜ヶ池のお櫃納め(遠州七不思議の1つ)など

山名神社大祭

▶眺め・みどころ

御前崎ケープパーク　御前崎灯台　浜岡砂丘　世界農業遺産茶草場農法の茶園　極楽寺のあじさい　蓮花寺のハギ　太田川桜堤など

御前崎灯台

▶食べたい逸品

御前崎市で「きりぼし」といったら芋切干のこと。1766年に薩摩藩船が座礁し、その船員たちを助けたのが御前崎の漁師、大澤権右衛門。彼は謝礼金を断りサツマイモの苗をもらい、それが遠州地方にサツマイモ栽培が普及したきっかけになったそうです。その後1800年代半ばに、御前崎の強風を利用した芋切干を考案。そんな発祥の地で芋切干を味わってみてはいかが。

きりぼし

▶よもやま話

御前崎市の桜ヶ池には古くから竜神が住むという伝説があります。そして、桜ヶ池に沈めたお櫃が、同じく竜神伝説のある南信州諏訪湖に浮いたことがあるとされ、地底で繋がっているという言い伝えも。さらに浜松市水窪の池の平は、桜ヶ池の竜神が諏訪湖に赴く際に休息する場所という言い伝えもあり、竜は三遠南信の守り神のようです。

◉近隣道の駅

掛川(国道1号)　風のマルシェ御前崎(国道150号)

4 宿場町の東西交流・東海道

漁師たちが海上安全を祈願した潮見観音像が見守る白須賀宿、関所が佇む新居宿、脇本陣や松並木が残る舞阪宿へと遠州灘沿いように伸びる東海道筋には、季節によって、牡蠣やノリの養殖風景、シラス漁の船が行き交う様子を眺めたり、潮の香りを楽しみながら海釣りを体験したりと海を満喫できます。続いて浜松市街地を抜け、磐田見付宿へと足を運べば、遠江国分寺や見付天神の門前町の風情。さらに海沿いへ南下すれば、かつて天竜川の舟運や江戸との交易でさかえた掛塚湊の雰囲気も味わうことができます。

雄踏歌舞伎

舞阪脇本陣内部

▶伝統芸能

1月／雄踏歌舞伎　2月／疫病神払い行事「ちゃんちゃこちゃん」　7月／遠州新居の手筒花火　旧暦8月10日／磐田見付天神裸祭　旧暦9月14・15日／舞阪大太鼓祭り　10月／雄踏息神社の大太鼓祭り　掛塚まつり　12月／ちゃんちゃこちゃんなど

見付天神裸祭

▶眺め・みどころ

福田海岸　竜洋海洋公園　中田島砂丘　浜名大橋　弁天島海浜公園　舞阪灯台　潮見坂など

浜名大橋

▶食べたい逸品

遠州灘でさかんなシラス漁。舞阪や福田の漁港では良質なシラスが水揚げされます。生シラスや釜揚げシラス丼は絶品。そのほか遠州灘の天然とらふぐや浜名湖産の牡蠣とウナギのたれを使った「牡蠣カバ丼」もオススメです。

シラス丼(浜名湖)

▶よもやま話

磐田市見付には、むかし娘さらいの怪物を南信州・駒ヶ根市の寺にいた犬の早太郎(当地ではしっぺい太郎と呼ぶ)がこの地に来て退治したという伝説があります。磐田市のゆるキャラ「しっぺい」はこの犬がモチーフ。そして見付天神裸祭りの激しい踊りは、怪物退治の感謝と喜びから始まったという一説もあるほどです。そしてこの伝説が縁で駒ヶ根市と磐田市は友好都市となっています。

◉近隣道の駅

潮見坂(国道1号)

5 奥三河の花祭り&田楽ライン

遠州からほどなくつながる奥三河は、花祭りの里。11月から3月まで15地区で花祭りが行われているので、訪れた際にはぜひ立ち寄って「テーホヘ、テホヘ」とまつりの雰囲気に浸ってみてはいかが。まつりのない時期は自然浴がオススメ。鳳来寺山周辺は火山岩類からなり、神秘的な輝きを有した岩肌の山々が特徴的。緑深い峡谷を流れる川底は、板を敷き詰めたようなに見えることから板敷川とも呼ばれ、独特な景観を楽しむことができます。

花祭り(東園目)

鳳来寺本堂

▶伝統芸能

1月／鳳来寺田楽　津具の花祭り　東栄町の花祭り(古戸・下粟代)　豊根の花祭り(下黒川・上黒川)　2月／黒沢田楽　田峯田楽　3月／東栄町の花祭り(布川)　11月／東栄町の花祭り(御園・小林・東薗目・月・足込・河内)　豊根の花祭り(坂宇場)　12月／東栄町の花祭り(中設楽・中在家)など

田峯田楽

▶眺め・みどころ

鳳来寺山　板敷川　阿寺の七滝　四谷の千枚田　茶臼山の芝桜など

板敷川

▶食べたい逸品

奥三河エリアは五平餅も多種多様。たれは各スポットのオリジナルで、しょうゆや味噌をベースに、くるみ、ナッツ、ごま、ニンニクなどをアレンジしたり、中には蜂の子が加わったものも。あなた好みの五平餅を見つけてください。

五平もち

▶よもやま話

鳳来寺山にはもともと高さが150mもある桐の木が生えていて、鳳来寺を開いたとされる利修仙人は、その木の洞の中で、龍や鳳凰と共に修行を積んでいました。仙人は鳳凰に乗って各地へ渡り、代々天皇の病を治療し、最後は300歳をゆうに超えていたそうです。亡くなった際は、仙人を慕っていた3匹の鬼たちもお供したとされ、その供養が鳳来寺田楽の由縁となっています。このほか、昼・夜・朝の三部構成で行われる田峯田楽、数戸だけで執り行う黒沢田楽をまとめて「三河三田楽」と称され、貴重な文化資源と注目されています。

【◉近隣道の駅

もっくる新城(国道151号)　豊根グリーンポート宮嶋(国道151号)
アグリステーションなぐら(国道257号)　くんま水車の里(静岡県道9号)